### I. 合同企画

#### 方の開合合

· 合同開会式:4月15日(金) 13:00~14:30 (Main Hall)

弦楽アンサンブル演奏(アンサンブルデュナミス)

4団体会長挨拶, 基調講演

玉木長良 (北海道大(JRS))

小倉明夫 (群馬県立県民健康科学大(JSRT))

荒木不次男(熊本大(JSMP))

小松研一 (日本画像医療システム工業会(JIRA))

#### 合同特別講演

· 合同特別講演:4月15日(金) 14:00~14:30 (Main Hall)

司会:玉木長良(北海道大)

宇宙、人、夢をつなぐ

宇宙飛行士 山崎直子

#### 合同シンポジウム

· 合同シンポジウム1:4月15日(金) 15:10~17:10 (Main Hall)

「次の25年の放射線医療の進歩を見据えて」

司会:遠藤啓吾(京都医療科学大)

真田 茂(金沢大)

1. 25年後の放射線診断

陣崎雅弘(慶應義塾大)

2. 核医学

立石宇貴秀(東京医科歯科大)

3. インターベンショナルラジオロジー(IVR)

山上卓士(高知大)

4. 次の25年の放射線治療の進歩を期待して

神宮啓一(東北大)

5. 医学物理分野における継続的な革新への期待

石川正純(北海道大)

6. 放射線技術の発展にむけて

高島弘幸(札幌医科大学附属病院)

・合同シンポジウム 2:4月 16日(土) 9:10~11:50 (国立大ホール)

「医療被ばくの線量評価と管理」

指定演題発表(9:10~9:40)

司会:森慎一郎(放医研)

1. Development of kV X-ray imaging dose calculation system for image guided radiation therapy

石原佳知(京都大)

2. 国際放射線防護委員会勧告 110 の標準ボクセルファントムに対応した Dose Length Product - 実効線量換算係数 (k-factor) の評価 小林正尚 (藤田保健衛生大)

3. リアルタイム線量計を用いたカテーテルアブレーション時の患者被曝線量測定に関する基礎検討

加藤 守(秋田県立脳血管研究センター)

シンポジウム(9:40~11:50)

司会:赤羽恵一(放医研)

大野和子(京都医療科学大)

1. Dose metrics in CT, mammography, radiography, and fluoroscopy: Practical Implications for Clinical Relevancy

John M.Boone (University of California Davis, USA)

2. Report from the working group of recommended Diagnostic Reference Level (DRL) for interventional radiology

市田隆雄(大阪市立大)

3. Dose evaluation and control for CT

松原孝祐(金沢大)

4. Diagnostic and functional imaging using low dose chest CT 神山久信(神戸大)

5. Dose evaluation and control for Nuclear Medicine 細野 眞(近畿大)

・合同シンポジウム3:4月17日(日) 9:30~11:50 (Main Hall)

「造影剤が放射線医療にもたらした功績」

司会:早川克己(岩手県立釜石病院)

小倉明夫(群馬県立県民健康科学大)

1. 造影剤の歴史と展望 山岡正治(バイエル薬品(株))

2. 造影剤注入技術と検出能 —X線CTにおける造影剤注入方法と撮影タイミング—

山口 功(大阪物療大)

3. 造影剤による診断法の変遷 小林 聡(金沢大)

4. 造影剤の安全性と対処法 対馬義人(群馬大)

5. ガドリニウム造影剤の脳内蓄積:日本と世界の動向を追う 神田知紀(帝京大)

## 合同会員懇親会

・ 合同会員懇親会:4月15日(金) 18:15~19:30 (横浜ベイホテル東急B2F)

# 合同表彰式及び合同閉会式

· 合同表彰式及び合同閉会式:4月17日(日) 15:00~16:15 (Main Hall)

「演奏: JRC2016 Festival Orchestra」 曲目: 花のワルツ ほか (予定)

平成28年2月29日 33